

指定管理者制度導入施設の実績評価表

対象年度	令和 7 年度	所管課	土木課
------	---------	-----	-----

1 基本情報

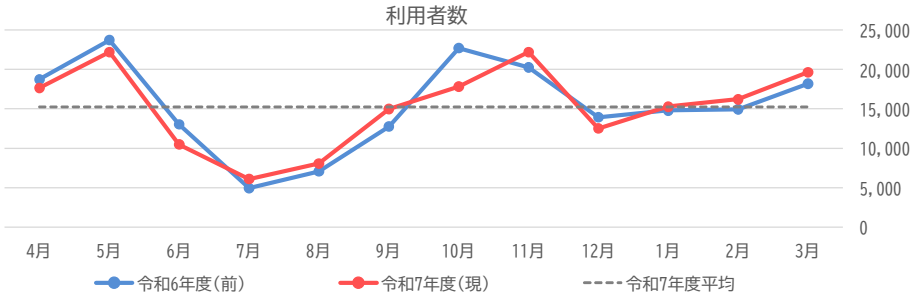
施設の名称	羽村市動物公園					
募集方法	公募		指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日		
指定管理者	名称	株式会社 横浜八景島				
	所在	神奈川県横浜市金沢区八景島				
管理運営体制	常勤職員	5人	非常勤職員	26人	合計	31人

2 利用実績等

(1) 利用者数

(単位：人・件)

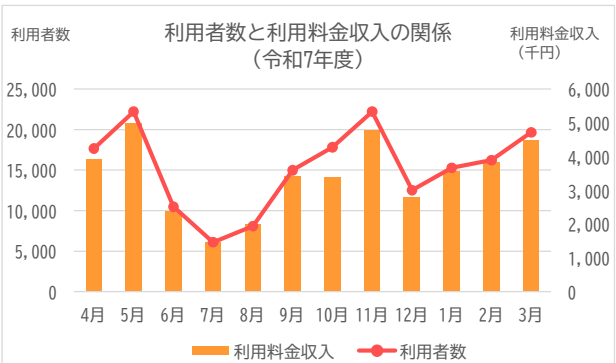
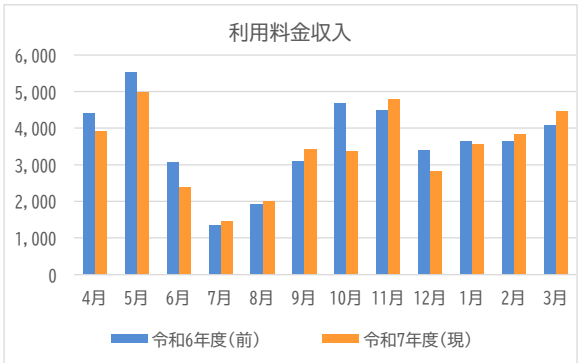
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	月平均
令和6年度(前)	18,744	23,727	13,029	4,939	7,073	12,764	22,707	20,270	13,938	14,793	14,961	18,194	185,139		15,428.3
令和7年度(現)	17,645	22,196	10,477	6,109	8,086	14,984	17,810	22,203	12,516	15,277	16,216	19,649	183,168	-1.1%	15,264.0
増減要因	利用者数は例年、天候及び気温の影響を強く受けて推移する。気温が高い夏季の7月及び8月は、年間の中でも利用者数が著しく減少する。繁忙期の春と秋は、利用者数が例年通り多かった。6月と10月は、週末及び連休における悪天候の影響により利用者数は減少したものの、年間利用者数は著しく減少することはなかった。														



(2) 利用料金収入

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	月平均
令和6年度(前)	4,415	5,517	3,066	1,357	1,914	3,109	4,687	4,492	3,398	3,633	3,635	4,071	43,294		3,607.8
令和7年度(現)	3,913	4,968	2,396	1,459	2,013	3,425	3,377	4,800	2,808	3,565	3,831	4,476	41,031	-5.2%	3,419.3
増減要因	令和7年度は令和6年度より利用者数が減少したことに伴い、利用料金収入が2,263千円減少した。一方、個人定期券の販売が好調で、個人定期券による収入は前年度より増加した。														



3 収支実績等

(単位：千円)

(1) 指定管理者の収支決算

		令和6年度(前年決算)	構成比	令和7年度(現年決算)	構成比	令和8年度(翌年予算)	構成比	備考 (R7内訳)		
収入	指定管理料	115,000	54.8%	120,749	56.1%	126,787	53.3%			
	利用料金（入園料、駐車場）	50,503	24.1%	48,462	22.5%	58,156	24.5%	入園料収入41,031 駐車場賃料収入7,431		
	その他	44,319	21.1%	46,056	21.4%	52,888	22.2%	商品販売収入32,481 手数料収入3,582 雑収入9,993		
	合計	209,822		215,267		237,831				
支出	人件費	113,421	54.1%	134,308	61.4%	143,287	60.4%			
	事務費	3,582	1.7%	3,363	1.5%	7,458	3.1%	旅費交通費388、通信運搬費1,646、被服費98 交際費5、事務消耗品766、広告宣伝費355、支払保険料105		
	事業費	13,127	6.3%	14,106	6.4%	12,628	5.3%	商品仕入費14,052、芸能費54		
	管理費	66,471	31.7%	66,633	30.5%	60,288	25.4%	修繕費 諸口4,107、修繕費 保守料264、水道光熱費 諸口29、水道光熱費 ガス1,145、水道光熱費 水道11,981、水道光熱費 電気7,214、管理用備品3,549、修繕用消耗品2,747、樹木管理用備品299、飼育費18,326、委託費3,019、賃借料 諸口3,214、賃借料 借地借家料1,217、清掃費3,483、警備料6,039		
	その他	13,221	6.3%	378	0.2%	13,702	5.8%	会議費55、諸手数料2、諸会費44、教育訓練費3、雑費267、租税公課 小口7		
	合計	209,822		218,788		237,363				
収支差額		0		-3,521		468				
増減要因		収入については、令和6年4月1日から利用料金を改正したことにより、利用者数は減少したものの、例年以上の収入を確保した。また、指定管理者の自主事業として実施しているオリジナルグッズ販売が好評を博し、前年度の自主事業収入を大幅に上回る結果となった。 支出については、物価高騰及び人件費高騰の影響により、動物の飼料費、委託費、光熱水費等が著しく増加し、前年度を大幅に上回った。 以上の結果、最終的な収支差額は0円となった。			収入については、利用者数の減少に伴い利用料金収入は減少したが、個人定期券販売によるリピーター層が増加した点と、自主事業で実施しているオリジナルグッズ等の物販が好調であったことから、その他の自主事業収入は増加した。支出については、人件費の高騰や物価高騰の影響により、支出全体が増加した。			支出については、人件費や管理費が増加することが見込まれているため、自主事業によるオリジナルグッズ等の販売収入や売店販売での特色あるメニュー展開により、客単価増加と、新規顧客を獲得する計画である。また、市としては、今年度は入園料、駐車場使用料の改定することとしており、物価高騰や維持費の支出増加への対応を図っていく。		

(2) 施設運営に要する市の財政支出(委託料等指定管理者への委託・補助金を除く)

区分	令和6年度(前年決算)	令和7年度(現年決算)	令和8年度(翌年予算)	備考 (R7内訳)
需用費	0	0	0	
役務費	63	65	65	火災保険料 65
委託料	5,071	2,834	187	PRカード制作187、動物公園管理運営計画策定支援業務委託2,647
使用料及び賃借料	4,313	4,313	4,313	駐車場用地借上料4,313
負担金、補助及び交付金	250	250	250	日動水協負担金250
工事請負費	0	0	0	
公益財産購入費	0	0	0	
備品購入費	141	0	0	
合計	9,838	7,462	4,815	

4 業務評価
(1) サービス向上策

事業提案内容 (令和7年4月時点)	【お客さま満足度向上の取組み】 動物ふれあい・ガイド等における入園者と職員とのコミュニケーションを大切にし、入園者満足度の向上を図る。入園者が参加できる機会をできるだけ多くすること、また、職員が笑顔でわかりやすい言葉で接することにより入園者に喜んでいただけるようなサービスに努める。	
指定管理者が実施したサービス向上策		その効果
指定管理者のオリジナルで「はむズーアニマルカードゲーム」を製作及び販売し、普及に努め、カードゲーム大会を開催した。		カードゲーム大会を8月と12月に1回ずつ実施し、1パック6枚入りのカードを3,000パック以上を販売し、完売した。カードゲームを通じて、参加者への動物公園の魅力発信に繋がった。

(2) 自主事業

事業提案内容 (令和7年4月時点)	・来園者ニーズに即したお土産の展開 ・軽飲食売店での定番メニューの提供と季節に応じたメニューの提供により園内での憩いの時間を創出 ・その他動物飼育展示に関するイベント等の実施				
指定管理者が実施した自主事業	・サービスセンターにおいて、飼育員手作りのオリジナルグッズ等を販売した。 ・軽飲食店「AOBAZUKU」においてニーズに即したメニューを提供した。				
事業名	R6実施	R7実施	内 容	実施頻度	事業提案時内容
団体向けガイドツアー	○	○	一般公開していないバックヤードを見学するツアーを実施	年に1回程度	○
モルモット総選挙	○	○	毎年恒例のモルモット人気投票をSNSで実施	年に1回程度	○
国際ビーバーの日	○	○	国際ビーバーの日に合わせて、飼育員がガイドを実施	適宜	○
親子ナイトツアー	○	○	夜の動物観察ツアーを実施	年に1回程度	○
アメリカビーバー愛称募集	○		5月に誕生したビーバーの愛称募集事業を実施	適宜	
レッサーパンダ愛称投票	○		6月に誕生したレッサーパンダの愛称募集事業を実施	適宜	
動物愛護週間記念行事動物慰霊祭	○	○	動物愛護精神の普及啓蒙を目的に、死亡動物の慰霊祭を実施	年に1回程度	○
さたでーないとビーバー	○		ビーバーの活動が活発な閉園後に観察会を実施	年に1回程度	○
地元企業とのSDGs活動		○	地元企業と連携し、多摩川河川敷清掃活動を実施	年に1回程度	○
【R6】実施した自主事業		60 事業	【R6】実施事業のうち提案時の事業数	60 事業	提案事業の実施率 100.0%
【R7】実施した自主事業		75 事業	【R7】実施事業のうち提案時の事業数	75 事業	提案事業の実施率 100.0%
職員・管理体制	利用者からの苦情がほとんどなく、常勤職員や非常勤職員の適正な管理がされている。動物達の飼育環境の向上や展示の工夫に努めており、利用者から高評価をいただいている。				A

(3) 利用者アンケートの結果

実施期間	令和7年4月～令和8年3月毎日実施	回答数	218
利用者の主な意見	自主事業で実施しているエサやりツアーやガイドについて、対応したスタッフへの高い評価が多かった。		
具体的な対応状況	高い評価の意見が多い動物飼育展示については、動物の特徴や生態に合わせた飼育展示の方法やプログラム・イベントを一年を通して実施し、利用者満足度の向上やリピート率の向上に努めている。		

(4) 管理運営の状況の評価

項 目	所管課の評価・意見	評価
施設の目的に沿った管理運営	動物公園の4つ役割である、「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」のそれぞれについて、専門事業者のノウハウを活かした事業展開を実施し、利用者からも高い評価を得ていることから、優れた管理運営が行われている。	A
平等な利用の確保	市内外問わず、全ての来園者に対し、イベントの実施や駐車場の利用について、平等な利用の確保を行っている。	B
利用者サービス向上の取り組み	利用サービス向上のための自主事業として75事業に取組み、利用者から一定の評価があることから、優れた管理運営が行われている。	A
収支状況及び経費削減	売店での販売による収入を強化することで、自主財源を確保し管理運営費に補填することで、収支のバランスを維持することができたことから、優れた管理運営が行われている。	A
職員・管理体制	利用者からの苦情がほとんどなく、常勤職員や非常勤職員の適正な管理がされている。動物達の飼育環境の向上や展示の工夫に努めており、利用者から高評価をいただいている。	A

※結果欄の記載

A（優 良）：仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。

B（良 好）：概ね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。

C（課題有）：仕様書等の内容を一部下回る内容があり、更なる工夫・努力が必要である。

D（要改善）：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善が必要である。

5 問題・課題等

今後の問題・課題	解決のための対応策
毎年度、利用者数が減少していることに伴い、利用料金収入が減少している。一方で、物価高騰により、管理運営費が増加しており、今後は、市としても動物の生命に直結する獣舎や、入園者の安全を守る施設の老朽化対応が必要となってくる。	・管理運営計画に基づく指定管理者との連携の強化による魅力向上 ・物価高騰に伴う使用料の柔軟な見直し ・施設の老朽化対応として、特定財源等の活用を検討